

順天堂医院ニュース 2024 NO.86

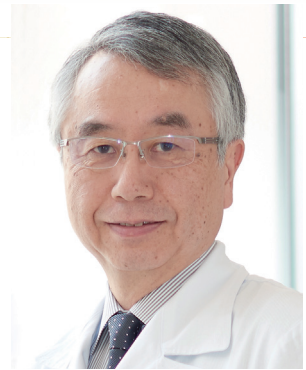
2024年1月号(新年号)

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、昨年5月8日に第5類に変更され、2023年11月6日現在、東京都の定点観測では1.46人／定点と激減してきました。当院のCOVID-19入院患者さんもほぼおられない状況です。インフルエンザに罹患された患者数も当初危惧したほど増加していません。一方、過去にあまり流行を見なかった咽頭結膜熱（プール熱）などが急増しており、感染症の流行状況も変化してきました。市中でマスクをしている光景は少なくなりましたが、今後、新たな感染症が流行する可能性も否定できません。当院では引き続き万全の感染対策を講じた上で診療を継続してまいります。

当院は、国際的な医療機能評価であるJCIや病院機能評価で感染症対応のみならず、高難度医療を安全に提供する病院として高く評価されています。また、当院は日本に15しかない臨床研究中核病院として認定されており、新しい医薬品や医療機器の開発を推進しております。昨年1月には新しい医療情報システムを導入し、一時的にご迷惑をお掛けしましたが、現在は順調に稼働しており、通院支援アプリをはじめとするICTを活用することで待ち時間の短縮など患者さんの利便性向上に努めてまいります。

昨年1月には国立がん研究センターから村上直也先生が放射線治療学講座の教授として、また、4月には国立国際医療研究センターから田嶋強先生が放射線診断学講座の教授として就任されました。地域がん診療連携拠点病院である順天堂医院における「がん診療」の活性化が期待されます。順天堂医院はこれからも「安心・安全な高難度医療」を「Patient First」の精神で届け続けます。今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



順天堂大学医学部附属順天堂医院

院長 高橋 和久

各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。



遺伝性血管性浮腫 (HAE) って病気を ご存じですか。

順天堂医院腎・高血圧内科 眞野 訓

みなさんも体に「むくみ(浮腫)」がでたというご経験は、何度となくあるのではないのでしょうか。ヒトの体は約70%が水分で構成されていますが、その水分が体の表面近くにたまった状態を「むくみ(浮腫)」という症状として自覚します。どなたにもご経験のある特に珍しくない症状ですが、その原因や成因はさまざまです。

その浮腫が突発的に現れる珍しい病気のひとつに、「遺伝性血管性浮腫(HAE)」という病気があります。その名の通り、遺伝子に異常があるために、体内にある特定のタンパク質が十分に働かないことにより、体の一部に繰り返し浮腫が起きる病気です。通常は数日の経過で自然に浮腫が消えてしまうため、病院にかかった時には症状がなくなっていることもあります。しかし、のどや腸に浮腫が現れることもあり、そのような場合には窒息や急性腹症の様な重篤な症状が出ることもあります。また、浮腫に対する通常の治療がほとんど効かないのも特徴です。患者さんが遺伝性血管性浮腫であることを、あらかじめご存じでない場合には治療が遅れて危険な状態に陥ることもあります。しかも、そのための治療薬を常備している医療機関は都内でも少数しかありません。

このような「体の一部に急にむくみがでたことが何度もある」、「これまでによく分からない原因で呼吸が苦しくなったり、おなかが痛くなったりしたことがある」、「家族に同じようなむくみがでる方がいる」、「普通の治療で治りにくいむくみで出たり消えたりする」という症状に心当たりのある方は、ぜひ一度、木曜日午前の『遺伝性血管性浮腫専門外来(担当医師:眞野)』にご相談ください。



腎・高血圧内科 木曜日午前
遺伝性血管性浮腫専門外来
担当医師:眞野 訓



HAE

HAE; hereditary angioedema



順天堂医院HP【腎・高血圧内科】



自立支援医療（精神通院医療）について



統合失調症やうつ病などの精神疾患により、通院医療を続ける必要のある方を対象に、病院、診療所、薬局、訪問看護、精神科デイケアでかかった費用の一部が助成される制度です。

また、脳神経内科や脳神経外科で「てんかん」と診断を受けた方の通院にかかる費用も対象となります。

◎対象範囲は…

世帯の区市町村民税額（所得割）が235,000円未満の方。ただし235,000円以上の方でも、特定の病名等に該当し、高額な費用負担が継続する場合（**“重度かつ継続”**）は対象になります。

- ・統合失調症、躁うつ病 / うつ病、てんかん、認知症等の脳機能障害、薬物関連障害（依存症等）
- ・3年以上の精神医療の経験を有する医師により、以下（◎）の病状を示す精神障害のため計画的・集中的な通院医療を継続的に要すると診断された者として、認定を受けた方
 - ◎情動及び行動の障害
 - ◎不安及び不穏状態

◎助成範囲は…

自立支援医療に係る医療費の自己負担が**1割**となります。さらに、1か月当たりの負担には世帯の所得に応じて上限が設けられています。

<所得区分（医療保険の世帯単位）>		<負担上限月額>	
		【一般】	【重度かつ継続】
一定所得以上	区市町村民税235,000円以上	対象外	20,000円
中間所得2	区市町村民税33,000円以上235,000円未満	総医療費の1割 又は高額療養費の 自己負担限度額	10,000円
中間所得1	区市町村民税33,000円未満		5,000円
低所得2	区市町村民税非課税（低所得Ⅰを除く）	5,000円	
低所得1	区市町村民税非課税（本人または障害児の保護者の年収80万円以下）	2,500円	
生活保護	生活保護世帯	0円	

◎手続き方法

手続きの窓口は、役所あるいは保健所です。以下の書類をそろえ、窓口へ提出してください。

- *支給認定申請書・自立支援医療診断書 ⇒ 所定様式を窓口で取り寄せてください
- *医療保険の加入関係を示す書類 ⇒ 受診者及び受診者と同一の「世帯」に属する方の名前が記載されている保険証など
- *「世帯」の所得状況等が確認できる書類 ⇒ 健康保険加入者については被保険者本人、国民健康保険加入者については、加入している世帯員全員の所得状況が確認できる書類（生活保護受給世帯の証明書、区市町村民税非課税証明書、標準負担額減額認定証、区市町村民税課税証明書、障害年金等の振込通知書など）

◎利用方法

認定された場合、「自立支援医療受給者証」、「自己負担限度額管理票」が発行されます。それらを病院、診療所、薬局、訪問看護事業所に提示することにより、制度を利用することができます。

認定期間は**1年**で、毎年更新が必要です。



臨床検査技師は顕微鏡で何を観察しているの？

～細菌と戦う好中球とは～

血液像は、血液をスライドガラスに薄く塗り、血球を染色液で染めて細胞の大きさや形、染まり方を顕微鏡で観察する検査です。

白血球は、細菌やウイルスなどの病原体からわたしたちを守ってくれる細胞の総称です。それぞれの白血球は異なる役割を持っており、好中球やリンパ球、単球、好酸球、好塩基球などに分類されます。体に異常が起こると、これらの細胞は数や割合、細胞の様子が変化します。今回は、白血球の中で一番多い好中球について紹介します。

好中球は直径が12～15 μmと赤血球の2倍程度の大きさで、くびれた核を持っています(図1)。普段は血管内を移動していますが、細菌が体中に侵入すると血管の壁をすり抜け侵入場所へ向かいます。そこで細菌が増えないよう、好中球は細菌を貪食(細胞内に取り込む)して処理します。

細菌を貪食した好中球を見てみましょう。細胞内に取り込まれた細菌も、染色液で染まります(図2、赤い矢印の濃い紫色の顆粒)。好中球は細菌を細胞内に閉じ込めると、消化酵素で殺菌して私たちが病気になるのを防ぎます。

血液像は、臨床検査技師が他の情報も参考にしながら、顕微鏡を用いてより詳細な情報を報告する検査です。診察医は、その結果を重要な手がかりとして病気の診断に役立てているのです。

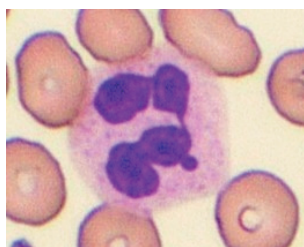


図1：通常の好中球

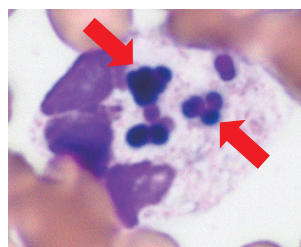


図2：血管内に侵入した細菌を貪食する好中球



看護師たちが駆ける防災訓練 ～災害リンクナースの活動～

看護部では、災害が発生した際にすぐに対応できるよう、各現場で自衛消防訓練を行っています。そのために、災害リンクナースと呼ばれる担当者を配置し、総勢36人の看護師たちが日々災害に備えて活動しています。

今年は、新型コロナウイルスの流行のために行えていなかった院内全体の総合防災訓練が4年ぶりに実施されました。この訓練には、看護部の災害リンクナースたちが積極的に参加し、大いに活躍しました。総合防災訓練では、災害発生時の本部設置から運営、外来患者やその付き添いの方々を守るための負傷者救護、当院が災害拠点病院として多くの負傷者を受け入れた際のシミュレーションや非常食の提供など、様々な訓練が行われました。4年ぶりの訓練で、慣れない状況ではありましたが、災害リンクナースたちは真剣に取り組みました。

いつか起こるかもしれない有事に備え、患者さん・ご家族はもちろんのこと、地域の皆さまの安全・安心のために、災害リンクナースを中心にこれからも活動を続けていきたいと思えます。



多数の傷病者を受け入れる訓練



様々な職種が協力し傷病者を安全に搬送



三大栄養素について

三大栄養素とは、「炭水化物」「たんぱく質」「脂質」のことを指し、食べ物として身体に取り込まれた後、それぞれが異なる経路で消化・吸収され、その役割も異なります。

糖質と食物繊維の総称を炭水化物といい、糖質は身体に入ると活動のためのエネルギー源として使われます。血糖値や体温の上昇に関与するため生体の維持には欠かせません。

たんぱく質は身体に吸収されると主に筋肉や組織の構成材料になります。不足すると、筋肉の減少や免疫力の低下に繋がりますが、過剰摂取が継続すると腎臓に負担がかかることも知っておく必要があります。

脂質は皮膚のうるおいを保ったり、細胞膜の構成、脂溶性ビタミンの吸収促進などの役割がありますが、過剰摂取では肥満や生活習慣病の原因になります。

このように、三大栄養素はそれぞれが重要な役割を担っています。主食・主菜・副菜を揃えた食事を心掛けることで食品を上手に組み合わせ、健康を維持しましょう。



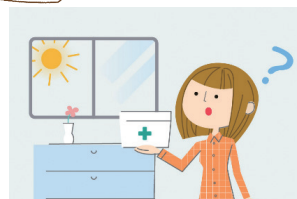
薬剤部ニュース



お薬の保管場所について



お薬の中には光・温度・湿度などによって効能が落ちてしまうお薬があります。お薬を安全に、そして効果的にご使用いただくために、今回はお薬の保管場所についてご説明します。



お薬の保管場所としてよく挙げられる【冷暗所】とは、どのような場所を指すのでしょうか？

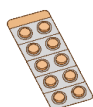
一般的に【冷暗所】とは 15℃～25℃の直射日光の当たらない涼しい場所を指します。冷蔵庫(2℃～5℃)の中は、冷暗所ではありませんので、注意してください。



一方、《冷所保存》の指示のあるお薬については、冷蔵庫の中で保管してください。

冷蔵庫の中でも冷気の吹き出し口付近での保管は凍結の恐れがあるため、避けてください。

また、お薬は、それぞれの性質に合わせて剤型や包装に工夫が施され製造されています。シートから出して保管したり、他の瓶に移し替えたりせずに保管するようお願いいたします。



お薬の保管についてご不明な点がございましたら医師や薬剤師にご相談ください。



子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術

【子宮動脈塞栓術について】

子宮筋腫は30～40代の女性に多い病気です。月経過多や強い月経痛、貧血、膀胱圧迫など日常生活に支障をきたす場合は治療対象になります。今まで、ホルモンを用いた薬物療法が効かない場合は、子宮摘出術や筋腫核出術など外科的な手術が治療の中心でしたが、最近では子宮を温存可能な子宮動脈塞栓術が注目されています。

【子宮動脈塞栓術の方法】

治療はお腹を切らずカテーテルという約1.3mmの細い管をそけい部（足の付け根）から動脈内に挿入し、血管撮影装置を用いて、子宮動脈まで進めます。そこから塞栓物質という細かい粒子を子宮動脈内に注入します。塞栓物質は血流によって子宮筋腫を栄養する動脈を塞ぎます。左右の子宮動脈にこの治療を行い、カテーテルを抜去して終了となります。

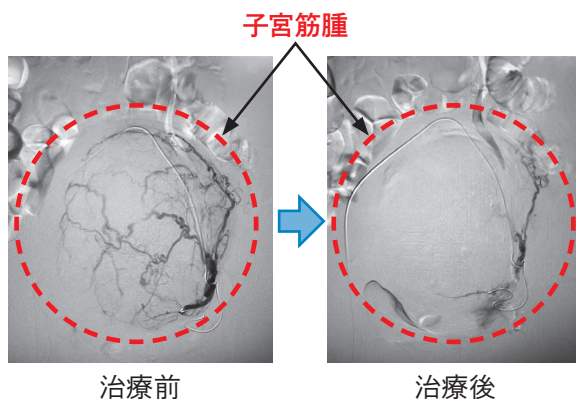
【子宮動脈塞栓術の特徴】

子宮動脈塞栓術は保険適応である塞栓物質の中から各々の子宮筋腫に対しより適切な大きさの塞栓物質を選びます。塞栓物質の使用量は筋腫の大きさや血流によって異なります。

当院では本治療に熟練した放射線科医が治療することで効果的で合併症の少ない治療を心がけています。さらに当院の血管造影室にはCT装置もあり、治療中に3次元CT画像の撮影が可能です。また、当院の高精度なMRI画像を補助画像として使い複雑な血管走行の子宮動脈にも対応しています。



血管撮影装置 + CT装置



子宮筋腫への血流が塞栓物質投与により、消失しています。経時的に子宮筋腫が縮小します。

今日からはじめる

健康講座



1月号



総合診療科 教授
小林 弘幸

免疫力を高める～肺を大切に

新型コロナウイルスが蔓延し始めてから4年が経ち、ワクチンも普及した一方で、自身の免疫力を高めることの重要性を再認識された方も多いのではないのでしょうか。空気の中には埃やカビのような粒子の大きなものから、細菌やウイルスなどの小さな病原体まで、体に有害な物質が含まれており、これらは呼吸と共に口や鼻から入り気管に到達します。特に新型コロナウイルスは0.05-0.2 μm と極めて小さいので、肺の奥まで到達が可能です。肺に存在する免疫細胞が正常に働いていれば感染を免れることができますが、肺に疾患があると本来持っている一連の免疫システムが機能不全となり、感染症に感染するだけでなく、重症化する危険性があります。免疫システムを正常に維持するためには、全身の免疫力を高めることと、肺そのものの健康を維持することが大切です。肺を鍛えることはできませんが、呼吸筋と呼ばれる肋骨周辺の筋肉を鍛えることで深い呼吸が可能となり、1回に取り込む酸素の量が増え、年齢とともに衰えてしまう肺の機能を保つことができます。また、ビタミンDは免疫細胞のマクロファージを活性化させる働きと、免疫機能の暴走を抑える働きがあり、免疫力の強化には欠かせないビタミンです。きのこや芋類に多く含まれるほか、日光を浴びると体内で合成されます。この冬も感染症の流行が予測されるため、日光浴や深呼吸、食習慣で、免疫力を強化する習慣を身につけ、感染症を予防したいものです。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL：03-3813-3111（大代表）

編集 広報管理運営委員会

発行 事務部 管理課（2024年1月発行）

ホームページ

<https://hosp.juntendo.ac.jp/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院HP】